

JAいわい東米の「特別栽培米」で使用している農薬の説明

商品名	主成分を示す一般的名称 (農薬の種類名)	使用目的 (摘要病害虫・雑草)	使用量	使用時期	使用回数	使用地区					
						本 沢	黄 南	小 日 形	曲 田	大 東	川 崎
エコホープライ ※1	トリコデルマ アトロビリデSKT-1	種子消毒 (ばか苗病・もみ枯細菌病・苗立枯細菌病 いもち病・苗立枯病(リゾーフス菌))	200倍液に24時間種子浸漬	浸種前～催芽前	1回	○	○	○	○	○	
テクリード水和剤 ※2	イプロナゾール	種子消毒 (苗いもち病・ばか苗病・ごま葉枯苗 苗立枯れ苗)	吹付 7.5倍 (JAよりの購入の場合)	浸種前 ※種子購入時には吹付処理済	1回						○
ダコニール1000	TPN水和剤	苗立枯苗予防	土壌かん注 1,000倍液→0.5リットル/育苗箱	種蒔き時	1回	○	○	○	○		○
Drオリゼ箱粒剤	プロベナゾール	葉いもち病	育苗箱の上から均一に撒布する。 50g/育苗箱	田植え3日前～ 田植え当日	1回						○
Drオリゼスタークル箱粒剤	ジノテフラン プロベナゾール	葉いもち病・初期害虫防除 (イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ等)	50g/育苗箱 育苗箱の上から均一に撒布する。	田植え3日前～ 田植え当日	1回	○	○	○	○	○	
クサトリーDX剤 ※2	フェントラザミド プロモブチド ベンスルフロンメチル	雑草防除	ジャンボH 400g/10a	田植え後3日～ノビエ2.5葉期 (使用適期 田植え後3日～13日後)	1回	○	○	○	○	○	○
			フロアブルH 500ml/10a	田植え直後～ノビエ2.5葉期 (使用適期 田植え後直後～13日後)							
			1kg粒剤75 1kg/10a	田植え直後～ノビエ2.5葉期 (使用適期 田植え後直後～13日後)							
バサグラン粒剤・液剤	ベンタゾン	雑草防除	粒剤 3～4kg/10a 液剤 500～700ml/10a (希釈水量10～100L)	田植え後15日～50日	1回						○
コラトップ粒剤・ジャンボ剤 ※3	ピロキロン	穂いもち病予防	粒剤 4kg/10a ジャンボ剤 600g/10a	出穂20日前～5日前	1回		○	○	○	○	○
ダントツ粉剤・水溶剤 ※3	クロチアニジン	カメムシ防除	粉剤 3～4kg/10a 水溶剤 25g/10a	穂揃い期～ 穂揃い1週間後	1回	○	○	○	○	○	○

※1 生菌の微生物農薬なので「特別栽培農産物に係わる表示ガイドライン」で農薬使用回数はカウントされません。

※2 種子更新率を100%行うこととしており、岩手県農産物種苗センターで調整及びテクリード水和剤を吹付け処理した種子を使用しています。

※3 ラジコンヘリコプターによる集団防除を行い、散布時期のバラツキをなくし防除効果を上げています。